

人工知能を用いた技術の中でもとりわけ先進的な取り組みが、芝麻信用と呼ばれる中国の信用評価システムです。芝麻信用は、モバイル決済サービス「アリペイ」を運営するアント・フィナンシャルグループ（蚂蚁金服）が開発しました。各人の信用スコアは、インターネット上の各種消費や行動データと金融機関における貸借データをもとに、ロジスティック回帰、決定木、ランダムフォレストなど、以降の章で学んでいく機械学習の手法を用いて計算されます。そのようにして算出された信用スコアは行為能力、人脈関係、信用歴史、履约能力、身分特質の5つの観点から評価され、350～950の総合スコアが算出されます。

この芝麻信用が高いと、いろいろな場所で保証金なしで日用品などを借りることができます。たとえば雨が降ってきて傘を持ち合わせていなかったときに、近くのスーパーやホテルなどで傘を借りられます。また、スマートフォンのモバイルバッテリーが急ぎょ必要になった場合などに、芝麻信用が高い人であればデポジット（預り金）が不要になるのです。他にも、芝麻信用が高い利用者に限ってレンタル自転車・レンタカーや賃貸住宅・ホテルのデポジットが不要になり、面倒な手続きが省略できるようになったり、携帯電話通信サービスの安いサービスが契約できたりします。

中国の人工知能開発は、西側諸国に敵対するようなその手法が批判を浴びることもしばしばあります。しかし、最先端の技術を大胆に取り入れていくフットワークの軽さには、日本も見習うべき点があるといえるでしょう。



2章

機械学習の基礎知識

この章では、人工知能を発展させるために不可欠な機械学習について学んでいきます。機械学習の中でもどのような手法がありどのような分野で使われているのか、また、何ができて何ができないのか、というように、機能と用途を知ることが、その後に学んでいくアルゴリズムの理解を助けることにもつながります。